

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷保健事業部では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	健診データを用いた眼疾患及び全身疾患予知アルゴリズム構築
研究代表者	聖隷事業団 聖隷浜松病院、朝岡亮
研究実施体制	研究代表者(研究で利用する情報の管理責任者): 聖隷浜松病院眼科 部長・朝岡 亮 参加研究機関 島根大学医学部眼科学講座 教授・谷戸正樹 聖隷浜松病院眼科 部長・朝岡 亮 東京大学大学院医学研究科眼科 助教・青木修一郎 虎の門病院眼科 医師・村田博史 東京大学大学院情報理工学系研究科 教授・山西健司 株式会社 Queue 代表取締役社長・柴田直人 鹿児島大学眼科 医員 山下高明 山下眼科クリニック 副委員長 山下高明 島根大学医学部腎臓内科学講座 教授 神田武志 南子安眼科 院長・古山誠
研究期間	2020 年 9 月 1 日～ 2029 年 3 月 31 日
対象者	聖隷保健事業部の受診者
研究の意義・目的	一般的な健康診断や特定の疾患の発見を目的とした健診(脳ドック、眼科健診)では、得られた検査結果(血液、尿検査など)や画像(脳 MRI、眼底写真)から、医師の診断により疾患の発見が行われます。診断結果は医師の経験や技能に影響を受けること、また、診断医の確保がしばしば容易でないことが問題になります。近年、人工知能による疾患診断が医師の補助診断として有用であることが多数報告されており、それらを用いた疾患診断・予測アルゴリズムの構築は今後の医療の高精度化に貢献します。 疾患の有無を診断・予測する人工知能アルゴリズムの学習には、ある疾患や状態が既知で、かつ、その疾患や状態を診断するに足る臨床情報が揃っている事が必要です。サンプル数が多いほど学習精度は向上するため、大規模臨床データの利用が不可欠です
研究の方法	本研究課題では、聖隷健康診断センターでこれまでに得られた臨床データ及び画像を利用して、緑内障などの眼疾患や脳血管疾患・高血圧などの全身疾患や年齢・性などを診断・予測するためのコンピュータアルゴリズムを構築します。 なお、本研究は後向き研究であり、研究内容は個人情報that特定できない形態での発

	表を想定しています。 収集したデータは、聖隷浜松病院眼科の外部から容易にアクセスできないコンピューターに保管します。収集したデータは個人の特定につながる情報を消去した上で、島根大学医学部附属病院眼科・東京大学大学院医学研究科眼科・東京大学大学院情報理工学系研究科・株式会社 Queue・島根大学眼科・腎臓内科・鹿児島大学眼科・山下眼科クリニック・虎の門病院、南子安眼科に郵送またはメールにより提供され、眼疾患、全身疾患、その他の状態（年齢、性など）を予測するコンピュータアルゴリズムの構築に利用されます。 研究結果は医学・情報工学関連の学会および学術誌で公表します。公表の際にも、個人の特定につながる可能性のある情報は一切用いません。
個人情報の取扱い	本研究成果は個人情報 that 特定できない状態で学会等で発表されることがあります。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院眼科 （氏名）朝岡亮 TEL：053-474-2222（代） FAX：053-471-6050（代表） 9:00～17:00 平日 研究責任者：島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹 0853-20-2284